

全国の循環器科または心臓外科を標榜する病院に通院中の患者さま・ご家族さまへ

国立循環器病研究センターでは日本循環器学会が実施する循環器診療の実態調査のデータベースを利用して「遺伝性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究」を行っています。

この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を解析してまとめるものです。この研究のために、新たな検査等はありません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、以下の担当者までご連絡ください。また、この研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合も、遠慮なくご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報はこの研究には利用せず、すでに収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】日本循環器学会に協力する全国の循環器科または心臓外科を標榜する施設において、2012年4月1日～2023年3月31日の間に、遺伝性不整脈（カテコラミン誘発多形性心室頻拍・QT短縮症候群）で入院された方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースと二次調査に基づく遺伝性不整脈患者の診断・治療・予後に関する研究（研究A）

【研究の意義・目的】本研究では、全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD）のデータベースを用いて、カテコラミン誘発多形性心室頻拍やQT短縮症候群患者さんの原因疾患、治療内容、転帰を明らかにし、今後の早期の診断及び治療に役立てていくことを目的にしています。

【利用する診療情報】

以下の1)～3)の入院において、下記の診療情報を利用いたします。

- 1) カテコラミン誘発多形性心室頻拍やQT短縮症候群での入院
- 2) 退院後の再入院
- 3) 1)と同一年度の、1)以前の入院

入院時の年齢、性別、入退院年月日、退院時転帰、身長、体重、病名、医療費、治療薬、治療内容、各種検査所見など

また、1)の入院と同一年度の外来通院記録も利用いたします。

【情報利用管理者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津欣也

【研究の実施体制】

【研究責任者】 国立循環器病研究センター 臨床検査部 部長 相庭 武司

【研究期間】 研究許可日より 2030 年 3 月 31 日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この研究で有られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究機関の長の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 臨床検査部 部長 相庭 武司
06-6170-1070 内線 40737

当院にカテコラミン誘発多形性心室頻拍で入院された患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2012年4月1日～2023年3月31日の間に、カテコラミン誘発多形性心室頻拍で入院された方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースと二次調査に基づく遺伝性不整脈（カテコラミン誘発多形性心室頻拍）患者の診断・治療・予後に関する研究（研究B）

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 臨床検査部 部長 相庭 武司

【研究の意義・目的】

本研究では、全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD）のデータベースと各治療施設からの追加情報を用いて、カテコラミン誘発多形性心室頻拍の患者さんの原因疾患、治療内容、転帰を明らかにし、今後の早期の診断及び治療に役立てていくことを目的にしています。

【利用する診療情報】

患者背景、自覚症状、初発の致死性心室性不整脈あるいは院外心停止の診断、内服薬、血液検査、遺伝学的検査、心電図関連検査、心臓カテーテル検査、心臓電気生理学的検査、心臓超音波検査、胸部レントゲン検査、胸腹部CT、心臓MRI、心臓核医学検査、心筋生検、致死性心室性不整脈に対する薬物治療および非薬物治療、退院後に患者さんに起こった出来事とその日付、病理学的検査の結果。

【情報利用管理者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【研究の実施体制】

この研究は、他の施設と共同で実施されます。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 臨床検査部 部長 相庭 武司

共同研究機関・研究責任者

1. 住友 直方 埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 非常勤講師

2. 加藤 浩一 滋賀医科大学 循環器内科 助教

本研究で収集した情報を、上記および下記の施設に提供し、解析を行います。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。

施設名及び管理責任者

国立循環器病研究センター 臨床検査部 部長 相庭 武司

連絡先：06-6170-1070

提供方法：紙媒体で情報を送付する場合は追跡可能な郵送方法、エクセルデータで情報を送付する場合は電子メール（必要に応じてパスワードによる保護を行う）で提供します。

【研究期間】研究許可日より 2030 年 3 月 31 日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2024 年 7 月 26 日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト

(<https://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 臨床検査部 部長 相庭 武司
06-6170-1070 内線 40737

共同研究機関一覧

医療機関名	部署名・役職	研究責任者
医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院	循環器内科・主任部長	湯田 聡
札幌医科大学附属病院	内科学講座 循環病態内科学分野 心臓・血管内科学部門 助教	藤戸 健史
旭川医科大学病院	循環器内科・助教	徳野 翔太
岩手医科大学附属病院	循環器内科・医師	澤 陽平
国立病院機構 仙台医療センター	循環器内科・医長	山口 展寛
群馬大学医学部附属病院	循環器内科・助教	長谷川 寛
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	循環器内科・部長	水上 暁
東京大学医学部附属病院	小児科・准教授	犬塚 亮
国立国際医療センター	循環器内科・不整脈治療センター長	榎本 善成
東京都立多摩総合医療センター	循環器内科・部長	加藤 賢
東京都立小児総合医療センター	循環器科・部長	前田 潤
聖マリアンナ医科大学病院	循環器内科・主任教授	明石 嘉浩
横浜市立大学附属病院	循環器内科・部長	日比 潔
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	循環器内科・部長	鈴木 誠
北里大学病院	循環器内科・講師	深谷 英平
石川県立中央病院	循環器内科・診療部長	古荘 浩司
山梨大学医学部附属病院	循環器内科・講師	黒木 健志
信州大学医学部附属病院	循環器内科・教授	桑原 宏一郎
あいち小児保健医療総合センター	循環器科・医長	鬼頭 真知子
愛知医科大学病院	循環器内科・部長	天野 哲也
医療法人徳洲会 名古屋徳洲会総合病院	小児循環器内科・部長	後藤 浩子
公立陶生病院	循環器内科・部長	坂口 輝洋

三重大学医学部附属病院	循環器内科・科長	土肥 薫
国立病院機構 舞鶴医療センター	小児科・医長	今井 朝彦
大阪母子医療センター	循環器内科・主任部長	青木 寿明
兵庫県立尼崎総合医療センター	循環器内科・医長	鯨 和人
社会医療法人 渡邊高記念会 西宮渡辺心臓脳・血管センター	副院長	合田 亜希子
岡山大学病院	循環器内科・科長	湯浅 慎介
医療法人あかね会 土谷総合病院	循環器内科・主任部長	村岡 裕司
愛媛大学医学部附属病院	循環器内科・教授	山口 修
福岡市立こども病院	循環器科・医師	連 翔太
大分大学医学部附属病院	循環器内科・教授	高橋 尚彦

当院に QT 短縮症候群で入院された患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2012年4月1日～2023年3月31日の間に、QT短縮症候群で入院された方

【研究課題名】循環器疾患診療実態調査（JROAD）のデータベースと二次調査に基づく遺伝性不整脈（QT短縮症候群）患者の診断・治療・予後に関する研究（研究C）

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 臨床検査部 部長 相庭 武司

【研究の意義・目的】

本研究では、全国規模のデータベースである循環器診療実態調査（JROAD）のデータベースと各治療施設からの追加情報を用いて、QT短縮症候群の患者さんの原因疾患、治療内容、転帰を明らかにし、今後の早期の診断及び治療に役立てていくことを目的としています。

【利用する診療情報】

患者背景、自覚症状、初発の致死性心室性不整脈あるいは院外心停止の診断、内服薬、血液検査、遺伝学的検査、心電図関連検査、心臓カテーテル検査、心臓電気生理学的検査、心臓超音波検査、胸部レントゲン検査、胸腹部CT、心臓MRI、心臓核医学検査、心筋生検、致死性心室性不整脈に対する薬物治療および非薬物治療、退院後に患者さんに起こった出来事とその日付、病理学的検査の結果。

【情報利用管理者】

国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【研究の実施体制】

この研究は、他の施設と共同で実施されます。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 相庭 武司

共同研究機関・研究責任者

1. 住友 直方 埼玉医科大学国際医療センター 小児心臓科 非常勤講師

2. 加藤 浩一 滋賀医科大学 循環器内科 助教

本研究で収集した情報を、上記および下記の施設に提供し、解析を行います。提供する際は、あなたを特定できる情報は記載せず、個人が特定できないように配慮いたします。

施設名及び管理責任者

国立循環器病研究センター 臨床検査部 部長 相庭 武司

連絡先：06-6170-1070

提供方法：紙媒体で情報を送付する場合は追跡可能な郵送方法、エクセルデータで情報を送付する場合は電子メール（必要に応じてパスワードによる保護を行う）で提供します。

【研究期間】研究許可日より2030年3月31日まで（予定）

情報の利用を開始する予定日：2024年7月26日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この文書は、研究期間中、国立循環器病研究センター 公式サイト

(<http://www.ncvc.go.jp>)の「実施中の臨床研究」のページに公開しています。将来、この研究の計画を変更する場合や、収集した情報を新たな研究に利用する場合は、研究倫理審査委員会の承認と、当機関の許可を受けて行われます。その際も、個別にお知らせしない場合は、同ページに公開いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 臨床検査部 部長 相庭 武司

06-6170-1070 内線 40737

共同研究機関一覧

医療機関名	部署名・役職	研究代表者
東京都立小児総合医療センター	循環器科・部長	前田 潤
岡山大学病院	循環器内科・科長	湯浅 慎介
山口県立総合医療センター	循環器内科・診療部長	上山 剛
佐世保中央病院	循環器内科・診療部長	木崎 嘉久
大分大学医学部附属病院	循環器内科・教授	高橋 尚彦